

コンタクトレンズを装着している場合の点眼について、特に問題となるのは、薬物や防腐剤がレンズに吸着することです。

コンタクトレンズ装着者の場合、原則的にははずして点眼することです。症状があり点眼を続けなければならない時は、メガネにかえるか、一日だけの使い捨てコンタクトレンズにかえる方がよいでしょう。

コンタクトレンズの種類

ハードコンタクトレンズ(HCL)	
ハードコンタクトレンズ (ハードレンズ)	一番古く、耐久性に優れ、使いやすく、安価です。但し酸素を通さないことから角膜に負担をかける場合があります。
酸素透過性ハードコンタクトレンズ (O ₂ レンズ)	ハードレンズの欠点であるところの酸素透過性をよくしたものです。欠点としては汚れが付きやすいため、たんぱく除去が必要です。
ソフトコンタクトレンズ(SCL、DSCL)	
ソフトコンタクトレンズ (ソフトレンズ)	材質が軟らかく、親水性の樹脂が主に使われています。異物感もなく短時間で慣れますが含水性のため細菌の繁殖に注意が必要で、消毒する必要があります。
使い捨てコンタクトレンズ (ディスポーザブルレンズ)	朝、装着して就寝前に取りはずして捨てる終日装用型とはずさず使用してから捨てる連続装用型があります。使い捨てコンタクトレンズはケアの必要がありません。

注意点

服薬指導を始める前に、まず患者さんがコンタクトレンズを使用しているかどうか、使用の予定があるのかを確かめることが必要です。

コンタクトレンズを装着している人は、ハード、ソフトに関係なく「はずして点眼」が基本です。特にソフトコンタクトレンズや酸素透過性のハードコンタクトレンズ、懸濁液の点眼薬を使用する場合は、「必ず」はずして点眼して下さい。